

高丸研究室

2011

専任講師 高丸圭一

takamaru@kyowa-u.ac.jp

宇都宮市大通り1-3-18

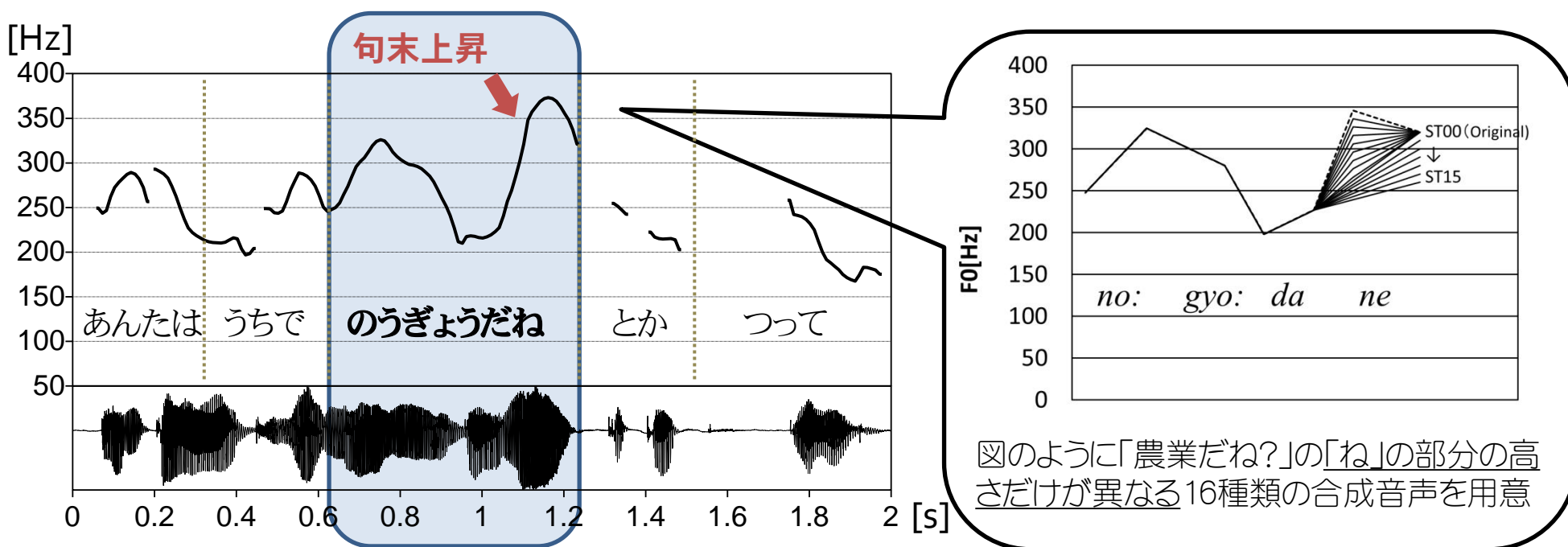
宇都宮共和国大学宇都宮沓イキャンパス

教育厚生棟904号室

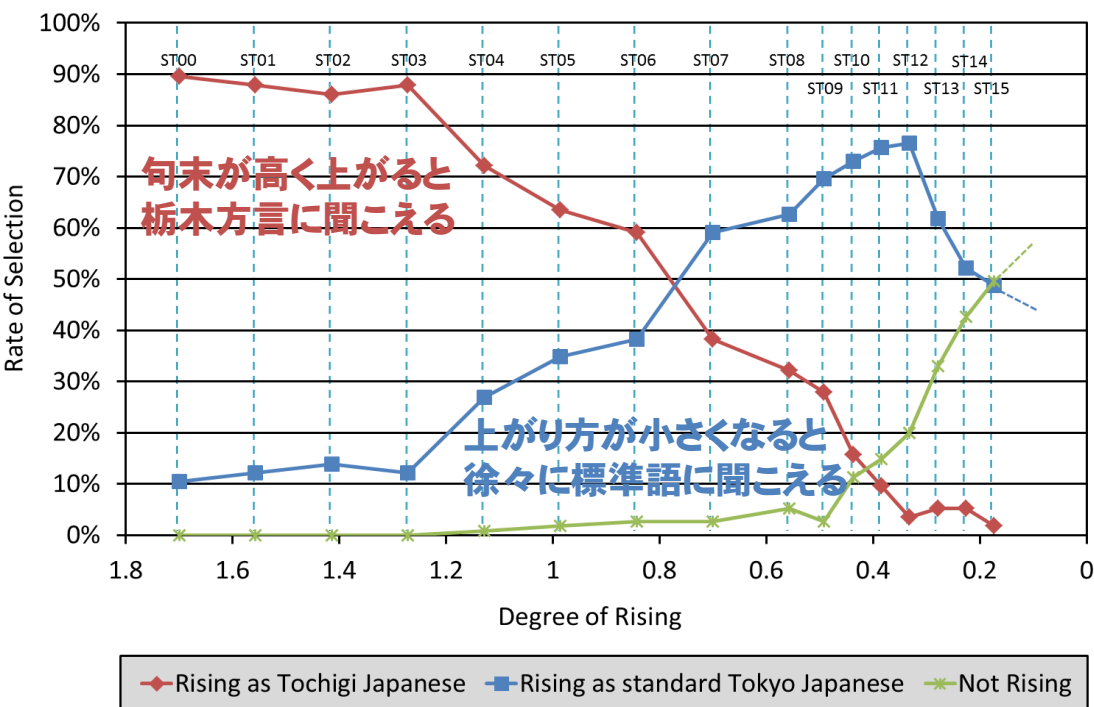
◆ 栃木方言の特徴の一つである「尻上がり調」について研究しています

「栃木方言」と「標準語」では尻上がり(句末上昇)の仕方にどのような違いがあるのかを以下の実験で確かめました。

実験の手順① 栃木方言話者の句末上昇を徐々に下げて16段階の合成音声を作成



実験の手順② 大学生23人に合成音声をランダムに聞かせて、それぞれ「栃木方言的上昇」「標準語的上昇」「非上昇」のどれにあてはまるかを調査



◆ 結論—栃木方言の尻上がり調

- 栃木方言の尻上がり調は標準語の上昇に比べて顕著に高く上がる。
- この特徴は無アクセント(平板)ではない話し方でも確認される。
- 栃木方言で尻上がりする場所(出現位置)は、標準語で句末上昇が起きる位置とほとんど違いがない。

研究業績

高丸圭一 (2011) 「栃木方言における尻上がり調の出現位置—老年層と若年層の女性話者の比較—」 『明海日本語』 16, pp.89-91
 高丸圭一 (2011) 「栃木方言の尻上がり調における句末上昇—聴取実験による上昇調との比較—」 『宇都宮共和国大学論叢』 12, pp.29-44.
 Takamaru, K. (2011) The Occurrence and Pitch Patterns of Phrase-final Rising in Tochigi Japanese, *Proc. of ICPHS XVII*, Hong Kong, pp.1942-1945